

提供**最佳**的物流服务

从日本走向未来!

东邦运输仓库株式会社



东邦运输仓库自1952年创业以来，有效运用丰富的知识和经验，为实现理想的物流系统而不懈地做出努力。

通过充实可提供高效物流的设备和网络、开发可满足多样化需求的运输技术、培养可从事各项业务的专业人才、以及实现商品保管与出入库信息系统化等，为全球客户企业提供旨在实现整个物流的合理化、高效化的细致入微的服务。

我们将继续不断努力，对于在全球各地寻求最佳物流的客户而言，成为他们方便且有用的物流合作伙伴。



公司概况

公司名称 东邦运输仓库株式会社
设立日期 公元1952年 9月
员工人数 547人（含集团下属公司）
仓库总面积 143,428m²
集团下属公司数量 7家公司
销售额 2022年度 8,047百万日元
（集团合并决算：12,195百万日元）2022年度末

总公司所在地 日本国宫城县仙台市
宫城野区日之出町三丁目4番21号
电话号码 +81 (0)22-284-2141
Fax 号码 +81 (0)22-284-3037
主页URL <https://www.toho-twc.co.jp>

与营业内容有关的咨询等

电话号码 : +81 (0)22-284-5013
Fax 号码 : +81 (0)22-284-2170
E-mail : th-eigyo@toho-twc.co.jp



东邦集团主要基地

Toho Warehouse Group Working Asset

- Our Company Administration
- Coexistence company Administration



在东日本地区设置了7家集团下属公司，与11家合作公司共同构成独创的保管与配送网络。

青森 青森东邦运输仓库 (株)

八戸 青森东邦运输仓库 (株) 八戸分公司

秋田 东邦运输仓库 (株) 秋田分公司

岩手 岩手东邦运输仓库 (株)

山形 山形营业所

宫城 (株) Mikuni

福岛 东邦运输仓库 (株) 总公司 5号仓库 总公司 6号仓库

东京 东京东邦运输仓库 (株)

【总公司地区仓库群】

仙台扇町分公司 国际营业部 仙台港分公司



在东日本地区特有的“大范围、偏远地区小量”运输方面，我们将货物集中到各地区的物流中心，通过网络合作实现高效、细致的配送。

通过系统化的物流，快速且灵活地满足客户的要求。



东邦集团
合作公司

7家公司 25个基地
11家公司 21个基地

拥有车辆台数

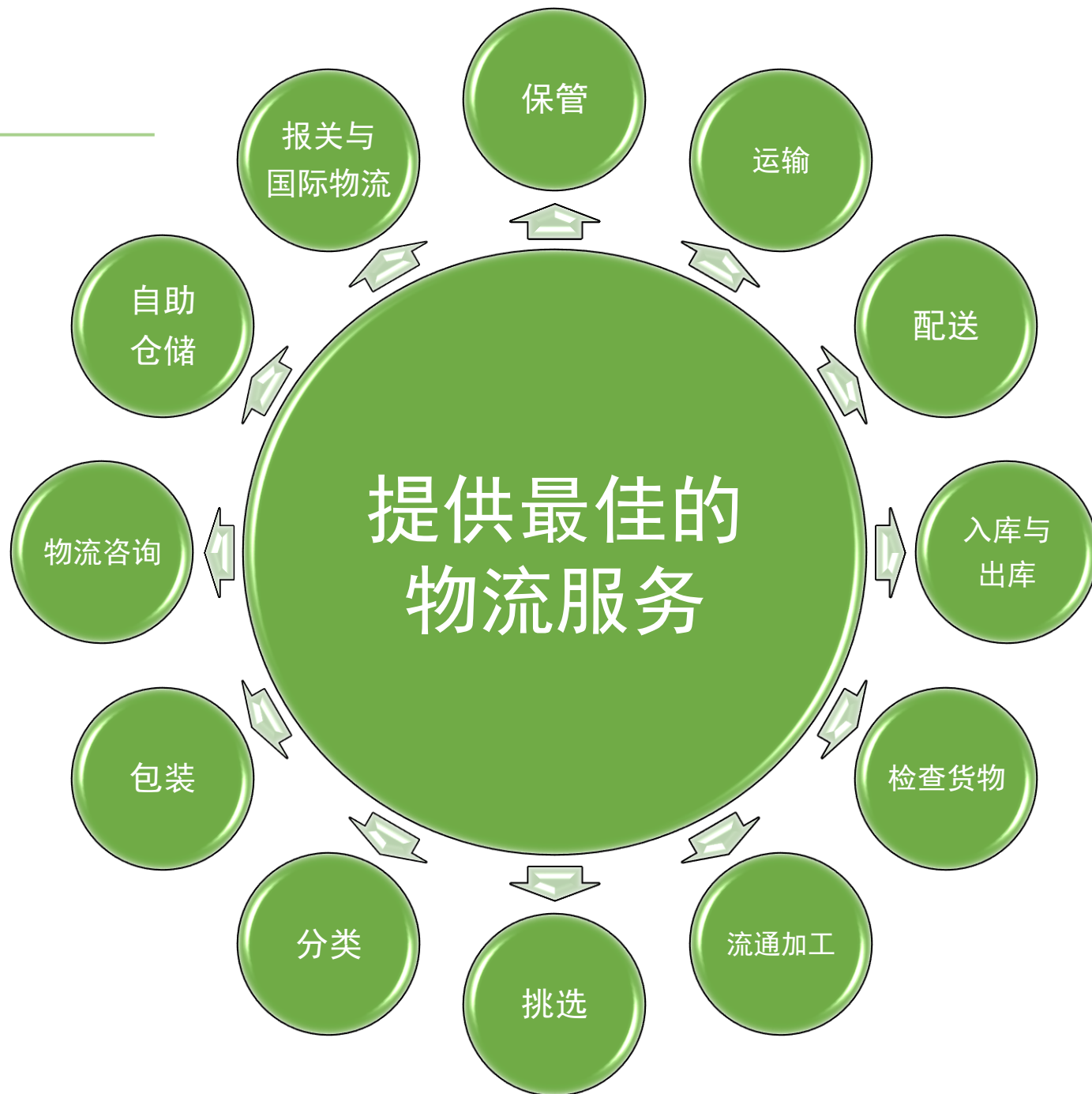
卡车	222台
叉车	188台

创造新价值

本公司运用多年来培育出的物流经验，于1996年率先在日本的东北地区开始了3大食品生产商的共同保管配送业务。

之后，还在日本的东北地区率先开始大型建筑材料生产商的共同配送业务。截至目前，本公司已向50多家建筑材料生产商提供保管配送方面的差异化增值服务。

本公司依托70年来培育出的配送技术和网络，努力实现让顾客满意的低成本运营和可立即满足客户需求的最佳物流服务。



东邦运输仓库集团响应众多客户的要求，构建起多个领域的物流，例如：高效的食品物流、住宅与建筑材料物流、汽车零部件物流、日用杂货物流、精密机械物流等。



主要营业内容

以要求的物流形态运输各种商品！

食品与饮料



机械与设备

(多功能复印机、太阳能电池板相关机器与材料)



日用杂货



护理用品租赁



文件保管



住宅建材与住宅设备



汽车相关
(轮胎、铝轮毂)



纸制品
(打印纸)



便利店
配送



东邦运输仓库集团可提供符合客户需求的最佳运输形态组合和班次。

以最佳组合方式提供卡车运输、铁路运输、海上运输和航空运输。

我们根据客户的要求，以定制且SDGs的形式提供危险物的保管与配送、降低成本、环保、缩短前置时间、向特殊收货地配送等难度较高的物流方案。



报关业



仙台盐釜港

- 报关（仙台港、仙台机场的进出口货物许可申请手续）
- 保税货物的保管
- 仓储（进出口集装箱配送）等

联运业



铁路货运站之间的货物收揽与投递以及铁路货物的处理业务。

危险物、有毒有害物质的运输与保管



危险物、危险品、有毒有害物质的保管、装卸、配送。

自助仓储

提供可灵活用于家庭整理整顿及事务所整理的明亮、清洁、安全的收纳空间。



集装箱保管服务

集装箱保管便于保管家具等大件货物。
在仓库中保管防尘性、防霉性高的集装箱。



自助仓储

通过高水平的安全管理，让顾客可以放心地寄存货物。
进行温度和湿度管理，保持货物的原有状态。

国际物流服务

东邦运输仓库集团为客户提供从海外进口和从日本出口的繁杂手续办理业务及门到门的物流服务。

使以厚纸箱和集装箱为包装单位的全球贸易成为可能。

以亚洲地区为中心，也向美国、欧洲方面提供符合客户需求的国际物流。



本公司在**质量**、**成本**、**前置时间**等方面都赢得了客户的高度评价。

在**食品物流**的质量和**建筑材料与设备**物流的质量方面，我们在年度竞赛中多次获得“**日本第一**”的好成绩。

在**安全管理和环境措施**方面，我们也取得了令客户满意的**高水平业绩**。



奖状



住友橡胶工业



S研（可果美、味滋康、日清奥利友）



TOTO

获得多家客户的质量“日本第一”的奖状

品質方針

東邦運輸倉庫株式会社(以下「当社」といいます。)は1952年の創立以来、東北6県を中心に物流業を営んで参りました。当社は、地域社会やお客様からの要望に応え、貢献することで、信頼される企業であり続けたいと思っております。当社の企業理念である「義務な物流サービスの提供」は、時代の変化に対応できる物流品質を、全員で目指す強い組織力を構築します。

《行動指針》

1. お客様のニーズを追求し、的確な提案ができる体制を盛り、「全国一」の物流サービスを提供致します。また、お客様の信頼と満足を獲得する品質にこだわり、常に物流品質向上への改善に取り組みます。
2. 関連する法令、規制、要求事項、及び契約を遵守し、業務活動においてはお客様の権利を尊重して、社会的責任を果たします。
3. 品質目標と課題達成のために、事業活動全体の品質向上を視野に入れた品質マネジメントを運用しながら、改善活動を継続的に行ないます。
 - (1) 年度品質目標と取り組み(アクションプラン)の設定を行ない、その実施結果をレビューして、目標の達成に努めます。
 - (2) 万が一不適合が発生した場合は、直ちに原因追及、手戻り防止、改善策を行ない再発防止に努めます。
 - (3) 品質改善活動の一環として、従業員の提案による「品質いいね！」活動を継続的に展開致します。
 - (4) 全ての従業員がモチベーションを高く品質改善ができるよう、表彰制度の導入を行ないます。
 - (5) 全グループの品質向上取組み確認のために、「ISO 9001」に準ずる内部監査を行ないます。
4. 従業員一人ひとりが、物流品質の重要性を認識し、お客様の視点と立場に立って誠実に行動致します。
5. 全ての従業員に対して、物流品質改善のために社内コミュニケーションの場と教育の機会を設け、品質向上に取り組みます。
6. 品質方針はホームページ等で、広く社外に公表致します。

制定：2014年4月1日
改訂：2023年5月23日
東邦運輸倉庫株式会社
代表取締役 黒川 敬之

质量方针



《環境方針》

東邦運輸倉庫株式会社(以下「当社」といいます。)は1952年の創立以来、東北6県を中心に物流業を営んで参りました。当社は、地域社会やお客様からの要望に長年貢献することで、信頼される企業であり続けたいと思っております。当社の企業理念である「義務な物流サービスの提供」は、時代の変化に対応できる環境改善の動き、全員で目指す強い組織力を構築します。

《行動指針》

1. 企業活動が環境に与える影響を常に自覚し、環境汚染の防止に努めます。
2. 環境保全に関する法令や東邦運輸倉庫グループが同意する協定、その他の要求事項を遵守します。
3. 環境目標と目標達成のために、環境保全への貢献とコスト削減を両立させたマネジメントを継続的に継続的な改善を図ります。また、環境目標と目標は定期的に見直しします。
4. 企業活動において、地域社会と共に脱炭素社会を目指し、下記項目を推進致します。
 - (1) 廃棄物の分別とリサイクル推進により、資源の必要な有効利用を行ないます。また、全社的な節電行動の継続を通して、電気使用量の必要な削減を行ないながら省エネ一千と再生エネルギーの設備導入を推進致します。
 - (2) 全社的に取り組む環境の共同活動(地球の日)により、CO2排出量の削減を実施致します。また、省エネ運転の個別指導を通して、CO2排出量の必要な削減を行ない、環境配慮型自動車の導入を推進致します。
 - (3) 地域社会活動との連携による環境活動を社員活動として定着させ、社会福祉活動として取り組んでいきます。
5. 全ての社員に対して、環境に関する教育を定着させ、環境保全の意識や能力の維持向上を図ります。
6. 環境方針はホームページ等で、広く社外に公表致します。



环境方针

东邦运输仓库集团充分利用大企业无法模仿的敏捷灵活的企业体制，承担广大地区的物流。

我们凭借全球视野和灵活的思维，秉承自豪之心，积极致力于各项业务。

我们将作为让大家放心的合作伙伴继续努力，欢迎与我们联系。

黑川 敬之
代表取締役



**TOHO TRANSPORTATION &
WAREHOUSE CO.,LTD.**

Since. 1952